

## キクの発根促進のための簡易・大量生産システム

情報経営部 作業技術チーム TEL:022-383-8114

### 研究の目的

キクの直挿し栽培は、省力と切り花品質向上の栽培法として県内でも大規模生産者を中心に普及していますが、きめ細やかな管理負担や発根に日数を要するなどの問題があります。そこで、直挿し後4日程度で活着し、大量処理が可能な挿し穂の発根促進処理の生産システムを開発しました。

### 研究成果

方法は下図の手順のとおりで、穂冷蔵 + 発根促進処理を行います。この処理法で得られた挿し穂を直挿しすると、4日程度で発根率が100%、最大根長が10mmとなり活着します。通常の直挿し法より6~10日程度活着が早まり、ほとんど腐敗が発生しません。発根・活着までの期間が短縮することにより管理負担が軽減し、施設の回転効率が高まり収益性の向上が期待できます。

1.採穂・調整・セルトレイ収納



2.穂冷蔵



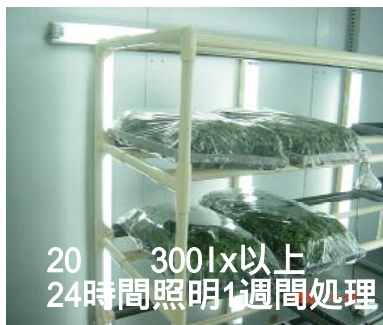
3.発根剤処理



4.ラップがけ



5.温度・光処理



発根促進処理  
した挿し穂を本圃  
へ直挿し

大量・簡易処理装置の利用

### 普及等の見込

当研究所が開発した装置は一度に5万本の挿し穂処理が可能で、1本当たりの経費は0.54円となります。この装置は志津川町花き育苗センターに設置しており、問い合わせにより利用も可能です。この生産システムはキクの直挿し栽培での普及が期待できます。

宮城県  
農業・園芸総合研究所

宮城県名取市高館川上字東金剛寺1番地  
TEL: 022-383-8111(代表) FAX: 022-383-9907(代表)  
ホームページ: [http://www.pref.miyagi.jp/res\\_center/](http://www.pref.miyagi.jp/res_center/)  
E-mail: marc-fk@pref.miyagi.jp(代表)